



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社アーク

コード番号 7873 URL <http://www.arrk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 康夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 吉田 正明

TEL 06-6260-1801

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,974	9.4	3,716	154.1	2,555	149.4	△8,233	—
23年3月期第3四半期	69,470	△27.8	1,462	—	1,024	—	216	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △10,066百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △1,559百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△125.02	—
23年3月期第3四半期	3.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	94,421	16,149	13.4
23年3月期	101,168	△3,131	△6.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,684百万円 23年3月期 △7,012百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	100,000	1.9	4,000	42.6	3,000	70.8	△9,000	—	△132.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社(社名) 除外 1社(社名)ショーブラ香港  
(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	68,101,592 株	23年3月期	68,101,592 株
24年3月期3Q	4,758,626 株	23年3月期	22,200 株
24年3月期3Q	65,857,574 株	23年3月期3Q	68,079,407 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、中国をはじめとするアジア経済地域において成長ペースは鈍化し、米国の景気低迷や欧州の金融不安等、厳しい状況が依然として続いております。国内経済においては、東日本大震災の影響による生産活動の停滞から緩やかに回復基調にあるものの、世界的な景気減速懸念や円高の長期化等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は、事業集中及び構造改革を通じた収益性向上と、構造改革を推進するための財務基盤の強化を遂行するため、平成26年3月期までの事業再生計画を策定の上、平成23年3月31日付で㈱企業再生支援機構に対して再生支援を申し込み、同日付で㈱企業再生支援機構より支援決定の通知を受けました。また、平成23年6月23日付で、㈱企業再生支援機構から債権の買取決定及び出資決定の通知を受けました。

㈱企業再生支援機構による支援のもとで、平成23年8月24日付で主要取引先金融機関及び㈱企業再生支援機構による約20,541百万円の債務の株式化、平成23年8月25日付で㈱企業再生支援機構に対する第三者割当増資による9,000百万円の資金調達がそれぞれ実施されたことにより、当社は抜本的な資本増強を果たし、債務超過が解消されました。

また、当該事業再生計画に基づき、国内の金型支援事業における固定費削減、及び非コア事業からの撤退等の事業再構築に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社11社が持分売却等により連結の範囲から除外されております。足元の業績においては、国内外の開発支援事業が堅調に推移したこと、及び国内の金型支援事業における収益性が回復していること等により、総じて回復基調が継続しております。

なお、新たな経営体制の整備及び充実並びに当社の監査体制の強化を図るため、平成23年8月31日付で経営陣を刷新し、新経営体制が始動いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高75,974百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益3,716百万円（前年同期比154.1%増）、経常利益2,555百万円（前年同期比149.4%増）となりました。なお、事業構造改善費用として4,347百万円の特別損失を計上したこと、及び法人税等調整額6,072百万円を計上したこと等により、四半期純損失8,233百万円（前年同期は四半期純利益216百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結累計期間の、連結損益計算書に含まれる連結の範囲から除外された連結子会社の影響は以下のとおりであります。（下記表中の「差引」欄の各金額は、当第3四半期連結累計期間末において連結の範囲に含めております当社グループの売上高、売上総利益及び営業利益の合計額を示しております。）

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		
	連結損益 計算書	内、当第3四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引	連結損益 計算書	内、当第3四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引
売上高（百万円）	69,470	7,398	62,072	75,974	5,256	70,717
売上総利益（百万円）	13,001	894	12,106	14,440	833	13,606
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	1,462	△163	1,626	3,716	255	3,460

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①開発支援事業

開発支援事業におきましては、国内では、東日本大震災の影響で自動車メーカーの開発が一旦中断したものの、受注環境は早期に回復しました。また、海外では、自動車をはじめとする輸送機器分野における需要が堅調に推移しました。その結果、売上高は26,328百万円、営業利益は2,410百万円となりました。

②金型支援事業

金型支援事業におきましては、国内では、構造改革による固定費削減策が一部顕在化したこと等により収益性が回復している一方、海外では、東日本大震災による開発計画の見直しやサプライチェーンの寸断等により、アジア地域における開発・生産スケジュールに遅れが生じました。その結果、売上高は50,821百万円、営業利益は1,900百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、94,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,746百万円減少致しました。これは主に、連結子会社でありましたショーブラ香港及びサトーセン等の子会社11社を連結の範囲から除いたことにより減少し、有償増資により増加したことによるものであります。

その結果、流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,312百万円増加し、56,698百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6,879百万円(うち連結除外影響額1,316百万円減少)増加したものの売掛金が4,071百万円(うち連結除外影響額2,292百万円)減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ8,058百万円減少し、37,723百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産が6,893百万円(うち連結除外影響額4,290百万円)減少し、その他有価証券が451百万円(うち連結除外影響額1百万円)減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ26,027百万円減少し、78,272百万円となりました。これは主に、固定繰延税金負債が5,664百万円(うち連結除外影響額21百万円減少)増加したものの借入金が27,537百万円(うち連結除外影響額1,449百万円)減少及び買掛金が2,398百万円(うち連結除外影響額706百万円)減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ19,280百万円増加し、16,149百万円となりました。これは主に、資本金が18,583百万円減少したものの、資本剰余金が14,921百万円、利益剰余金が24,970百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月11日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において当社の連結子会社でありましたショーブラ香港は株式譲渡により連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,148	22,159
受取手形及び売掛金	27,292	22,758
有価証券	831	824
商品及び製品	1,079	851
仕掛品	5,406	5,647
原材料及び貯蔵品	2,199	1,959
繰延税金資産	356	97
その他	2,651	2,671
貸倒引当金	△579	△272
流動資産合計	55,386	56,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,299	21,384
減価償却累計額	△16,680	△12,845
建物及び構築物(純額)	11,619	8,538
機械装置及び運搬具	48,359	31,099
減価償却累計額	△39,025	△24,389
機械装置及び運搬具(純額)	9,334	6,709
工具、器具及び備品	11,013	10,360
減価償却累計額	△9,019	△8,233
工具、器具及び備品(純額)	1,994	2,126
土地	9,456	8,217
建設仮勘定	848	1,036
有形固定資産合計	33,253	26,629
無形固定資産		
のれん	2,721	2,452
その他	489	489
無形固定資産合計	3,211	2,942
投資その他の資産		
投資有価証券	5,452	4,860
長期貸付金	1,496	1,461
繰延税金資産	166	59
その他	3,080	2,717
貸倒引当金	△877	△945
投資その他の資産合計	9,317	8,152
固定資産合計	45,782	37,723
資産合計	101,168	94,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,355	11,020
短期借入金	49,638	7,221
1年内返済予定の長期借入金	13,156	1,968
リース債務	298	225
未払金	1,462	1,280
未払法人税等	345	283
未払費用	1,861	2,042
繰延税金負債	29	12
賞与引当金	560	542
その他	6,185	6,890
流動負債合計	87,894	31,487
固定負債		
社債	670	205
長期借入金	9,367	35,434
リース債務	489	385
繰延税金負債	2,553	8,217
再評価に係る繰延税金負債	17	14
退職給付引当金	2,392	2,092
役員退職慰労引当金	150	107
その他	765	327
固定負債合計	16,405	46,785
負債合計	104,300	78,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,755	12,171
資本剰余金	1,059	15,980
利益剰余金	△32,617	△7,646
自己株式	△24	△24
株主資本合計	△827	20,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	5
繰延ヘッジ損益	—	△9
土地再評価差額金	△164	△162
為替換算調整勘定	△6,078	△7,630
その他の包括利益累計額合計	△6,184	△7,796
少数株主持分	3,880	3,464
純資産合計	△3,131	16,149
負債純資産合計	101,168	94,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	69,470	75,974
売上原価	56,469	61,533
売上総利益	13,001	14,440
販売費及び一般管理費	11,538	10,723
営業利益	1,462	3,716
営業外収益		
受取利息	131	101
助成金収入	228	85
持分法による投資利益	525	226
その他	442	422
営業外収益合計	1,327	836
営業外費用		
支払利息	1,181	1,206
為替差損	289	390
その他	294	401
営業外費用合計	1,764	1,997
経常利益	1,024	2,555
特別利益		
固定資産売却益	200	522
受取保険金	—	492
投資有価証券売却益	4	340
貸倒引当金戻入額	184	—
債務免除益	—	361
その他	221	4
特別利益合計	611	1,721
特別損失		
固定資産除売却損	83	27
事業構造改善費用	363	4,347
災害による損失	—	1,307
投資有価証券評価損	237	—
減損損失	—	369
貸倒引当金繰入額	80	—
その他	556	151
特別損失合計	1,321	6,203
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	315	△1,926
法人税、住民税及び事業税	422	369
法人税等調整額	△154	6,072
法人税等合計	267	6,442
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	47	△8,368
少数株主損失(△)	△168	△134
四半期純利益又は四半期純損失(△)	216	△8,233



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	47	△8,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	△51
繰延ヘッジ損益	—	△9
土地再評価差額金	—	2
為替換算調整勘定	△1,181	△1,324
持分法適用会社に対する持分相当額	△464	△315
その他の包括利益合計	△1,607	△1,698
四半期包括利益	△1,559	△10,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,255	△9,845
少数株主に係る四半期包括利益	△304	△221

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	金型支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,448	43,021	69,470	—	69,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	1,414	1,456	△1,456	—
計	26,489	44,436	70,926	△1,456	69,470
セグメント利益	1,589	408	1,997	△534	1,462

(注) 1. セグメント利益の調整額△534百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△703百万円、セグメント間取引消去による発生額168百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当するものはありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	金型支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,260	49,713	75,974	—	75,974
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	1,107	1,176	△1,176	—
計	26,328	50,821	77,150	△1,176	75,974
セグメント利益	2,410	1,900	4,311	△594	3,716

(注) 1. セグメント利益の調整額△594百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△639百万円、セグメント間取引消去による発生額44百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

	開発支援事業	金型支援事業	調整額	合計
減損損失	—	369	—	369

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金
前連結会計年度末残高	30,755	1,059	△32,617
当第3四半期連結累計期間末までの変動額			
A種優先株式の発行(注)1	4,500	4,500	—
B・C種優先株式の発行(注)2	10,294	10,247	—
無償減資	△33,378	33,378	—
欠損填補	—	△33,204	33,204
四半期純損失	—	—	△8,233
当第3四半期連結累計期間末までの変動額合計	△18,583	14,921	24,971
当第3四半期連結累計期間末残高	12,171	15,980	△7,646

(注) 1. 第三者割当の方法により、株式会社企業再生支援機構に全株式を割り当てすることで、9,000百万円の資金を調達いたしました。

2. B・C種優先株式の発行は債務の株式化により、資金調達は行っておりません。なお、B種優先株式の発行により当社の有利子負債が10,311百万円、C種優先株式の発行により当社の有利子負債が10,230百万円減少いたしました。